

# 2018年は 荒川上流部改修から100年

これまでの改修で、地域の発展に大きく貢献。  
次の100年に向けて、さらなる治水安全度の向上を図っていきます。

## 明治政府を動かした大洪水

～埼玉県内の堤防決壊314箇所、死傷者401名～

住宅の全半壊・破損・流出18,147戸、非住宅10,547戸、農産物の損害は2,400万円（現在の資産価値で約1,000億円）などの甚大被害となりました。かつてない大洪水に、明治政府は「臨時治水調査会」を設け、抜本的な治水計画にのり出しました。荒川は、国が直轄事業として改修すべき河川に採択され、「荒川改修計画」が立てられました。

明治48年の洪水 浸水被害の様子

（左）豊後橋、（中）豊後川、（右）水鏡大蔵堂前川

荒川治水事業概略図

荒川上流改修工事平面図  
荒川上流改修工事平面図

## 現在の荒川の骨格を築いた大土木工事

～連続堤防の工事や蛇行した流路の直線化等が行われた～

主な工事として、蛇行した低水路の直線化、広い川幅を活かした連続的な堤防の整備、河川敷の遊水効果を高める横堤の整備、人間川等の合流部の改良が行われました。

明治48年の洪水 堤防決壊の光景

二重ダム

機械動力による修繕

朝霞水門

河川の直線化

人力による修繕

## 荒川上流部改修100周年実行委員会

さいたま市 川越市 熊谷市 川口市 行田市 東松山市 鴻巣市 深谷市 上尾市 戸田市 朝霞市 志木市 和光市 桶川市 北本市 富士見市 坂戸市 川島町 吉見町 鳩山町 寄居町 北区 板橋区 埼玉県 東京都 独立行政法人水資源機構 国土交通省  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00751.html>

## 洪水を防ぐ荒川第一調節池

～洪水調節や利水補給といった重要な役割を担う施設～

荒川第一調節池は、洪水時は一時的に水を貯めて、下流への流量を減らす洪水調節池であると同時に、彩湖（荒川貯水池）は、都市用水となる水を貯めて渇水時に補給する利水施設でもあります。

荒川第一調節池



# 1. 荒川上流部改修100周年実行委員会

## ■ 荒川上流部改修100周年実行委員会

平成30年に荒川上流部の近代改修から100年を迎えることから、これを契機として、**荒川地域の方々に荒川の改修の歴史、地形、特性を改めて認識して頂くため、荒川上流域での効果的な広報・啓発活動を実施することを目的**として、荒川(国管理区間)に関係する自治体、都県、河川管理者等で構成する「荒川上流部改修100周年実行委員会」を設立。

## ■ 委員会メンバー

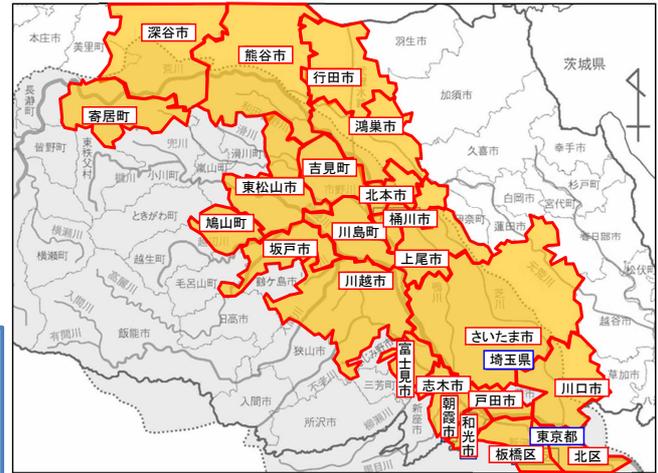
30機関：荒川上流部改修に関係する沿川自治体首長、東京都、埼玉県、国、水資源機構  
※第1回実行委員会を、平成30年1月17日に開催(当日は、8自治体首長が出席)。



【第1回実行委員会】会議状況



【第1回実行委員会】会議状況



### ■ 第1回実行委員会\_委員コメント(抜粋)

- ・東松山市長: 昨年の台風21号で、都幾川、市野川が氾濫危険水位を超えた。3年連続の避難勧告発令している状況。治水安全度を高めながら親水性を高めていきたい。
- ・和光市長: 歴史を拝見して、荒川の西遷やカスリーン台風のことは知っているものの、まとめて知る機会がなかったため、今回の委員会のような機会は貴重。
- ・吉見町長: 荒川上流部改修100周年に関して、水防イベントでブース設置し、継承していくことが大事と考える。

# 2. 荒川上流部改修100周年実行行事

## 1. 実行行事

- 関係自治体等をリレーする**巡回パネル展**
- 荒川上流部改修**100周年シンポジウム**(仮称)の開催 など
- 関係自治体等が開催する**イベントへのパネル提供**
- **博物館の企画展等と連携したパネル展示**
- 地域のまち歩きツアーと連携した**インフラツーリズム**(荒川の現場見学会)
- 荒川の歴史、防災、環境等に関する**出前講座**
- **荒川図画コンクール**等と連携した荒川魅力再発見する試み など

## 2. 「100周年実行行事」を周知するためのツールなど

- ポスター、卓上のぼり等の掲示
- 関係自治体広報誌と連携した行事の告知
- 新聞広告やテレビメディア等を活用した情報発信
- 荒川上流部改修100周年のHPサイトの活用
- 荒川にまつわる情報をとりまとめたコンテンツ拡充(100ネタ)
- HPリンクバナーやSNSを活用した広報 など

### 3. 巡回パネル展の開催について

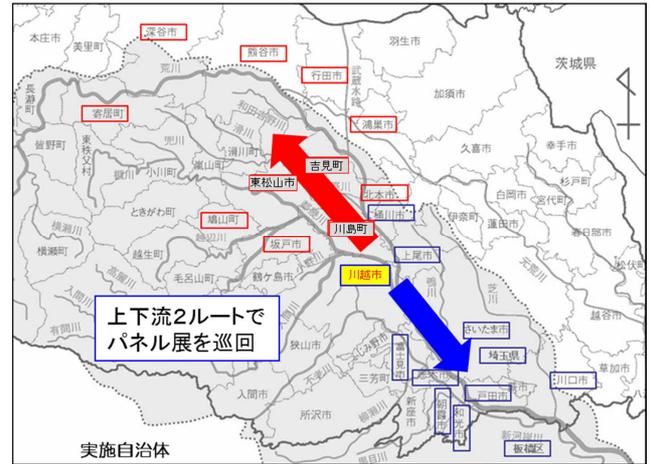
- 荒川上流部改修100年の概要等をまとめたパネルを活用し、リレー方式で関係24自治体を巡回するパネル展を開催
- 開催期間：平成30年2月～平成30年11月
- 上流・下流の2ルートで、順次、巡回パネル展を開催
- 2月2日(金)川越市役所において、巡回パネル展オープニングセレモニーを開催



パネル展オープニングセレモニー  
(川越市)



巡回パネル(桶川市)



### 4. 荒川上流部改修100周年シンポジウムの開催

- 概要：荒川上流部改修100周年を広く周知することを目的に、シンポジウムを開催
  - 開催期間：平成30年11月を予定
  - 実施場所：実行委員の自治体で、広域な方々が比較的集まりやすいホールにて開催  
(川越市にて調整中)
  - シンポジウム開催内容(案)
    - ①講演会
    - ②パネルディスカッション
    - ③その他 (図画コンクールやインフラツーリズムでの取り組みを連動することも検討中)
- 「(仮)これまでの100年とこれからの100年」をテーマとして展開
- ※シンポジウム開催内容等は、今後の実行委員会において、調整・決定する



シンポジウム(イメージ)



シンポジウム(イメージ)